

## 箱崎白浜地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

### 記

- 日時 平成29年11月26日(日)14時00分～15時10分
- 開催場所 箱崎白浜集会所
- 次第
  1. 市長からの挨拶
  2. 本日の主旨とこれまでの経緯
  3. 土地利用計画について
  4. 跡地利用計画について
  5. 街路灯について
  6. 今後の工事スケジュールについて
  7. 箱崎半島線の進捗状況について
  8. 鶴住居線「(仮称)恋の峠公園線」の進捗状況について
  9. 意見交換

(町内会長から)東日本大震災からちょうど6年8カ月経過いたしました。これまでに市長をはじめ、関係部署の皆様方のご尽力の賜物により、このように復旧・復興がなされております。また、この度はこのような立派な集会所が新設され、当地区の住民の皆様への集会施設、災害からの避難場所、そして諸団体の会議等の活動の場となります。また、高齢者が多いので、コミュニティが図られる等、大変喜ばれております。これからも、この施設を大いに活用させていただきたいと思っております。誠に有難うございました。

中須賀の白浜栗沢線が整備の対象から外れているようだが、そうすると、中須賀の白浜中津線の方に避難する道路がありません。そのため、これを継続事業の中に盛り込んでほしい。

- 白浜栗沢線を高台の白浜中津線へ接続してほしいとのご要望ですが、避難のための接続は跡地利用全体の中で検討したいと考えております。

市道鶴住居 32 号線と乗り越し道路との交差点付近で、舗装が出来ていない部分がある。砂利道のままだと大雨時に崩れてしまい、車が通ると掘れてしまうので、急いで整備してほしい。また、大型車がカーブを回り切れないため、改良が必要である。

- 交差点部分の舗装は、来年度の跡地利用事業の際に実施する予定でした。市の跡地利用計画に影響しない範囲において、ある程度舗装する等岩手県と調整したいと考えております。

市道鶴住居 32 号線で、漁港の方に入る道路の手前の部分が狭い。また、大雨になると、この部分から雨水が流れて道路を掘っているため、対策をとってほしい。

- 市道鶴住居 32 号線で漁港の方に入る手前の部分については、被災していない住宅が立地しており、市有地も無いため、既存道路の拡幅は難しいと考えられます。

白浜中津線の山間部の側溝と斜面部分を舗装してほしい。また、市道 32 号線の路肩の水路付近も併せて整備してほしい。

- 中津線の山間部区間では、コンクリートのたたきを行っておりません。大変な事態になっているとのご意見ですので、現地を確認し、対応の可否について検討いたします。
- 32 号線の路肩については、漁業協同組合から同様のご意見をいただいております。仮に水路を埋めますと、排水に支障が出る可能性もありますので、現地を確認のうえ対応させていただきます。

市道鶴住居 32 号線で側溝を整備しなかった区間の路肩が、雨で崩れた。今度は、道路の下が崩れる危険性があるので、対応してほしい。また、急カーブの箇所にはガードレールを設置してほしい。

- 市道鶴住居 32 号線の舗装とガードレールの件については、町内会長と一緒に現場を確認し、検討してまいりたいと思っております。  
⇒ 今回のまち協でお約束したことで、早速11月28日に町内会長と発言のあった住民の方と建設課職員の3者で現地立ち合いを行わせていただきました。数か所検討する箇所があるため、今後優先順位を付けて町内会長と確認の上、改修させていただきます。  
また、会議の際に発言のあった路肩の崩れた箇所につきましては、国費の活用により復旧を行うため、12月6日に災害査定を終えたところであり、復旧予算の目途がついたところでございます。

白浜中津線が出来たために、中須賀地区の自力再建4区画の付近において、既存道路を止めてしまっ

た部分がある。地元住民が頻繁に使用していた有効な道路だ。

- 本日のまちづくり協議会終了後に、詳しい場所を教えてください、お話を聞かせていただければと思います。

石橋地区において、集会所の周りの舗装はどうなっているのか。

- 仮設の集会所を11月、12月あたりに撤去する予定ですので、その後に、今年度末までに舗装するスケジュールで考えております。

石橋地区について、以前に自分の家の前に市が柵を設置する話があり、集会所の並びのところで道路から家の斜面に芝生を整備する内容であったが、引継ぎはどうなっているのか。

- この付近の階段と芝を整備する際に、併せて整備することになるかとは思いますが、個別に相談させて下さい。

集会所の下の道路は、舗装されているが、どの程度舗装する予定か。舗装が要らないということでは無い。

- 市道は舗装する予定です。この後、現場を確認させていただきたいと思います。確認次第、報告させていただきます。

中須賀前の4区画の中に自力再建で家を建てた者です。市がお盆過ぎに敷地境界にL字溝を入れるという説明を受けていたのだが、まだ実施されていない。どうなっているのか。

- 申し訳ございません。擁壁工事を発注する予定でしたので、市役所で調整しますので、個別に相談させていただければと思っております。

中津線に出る羽木の上の方の既存道路は、階段を設置するという話になっているが、まだ出来ていない。そのため、畑へ上がれない状況になっている。

- 個別に相談させていただくようお願いいたします。

市道箱崎半島線について、勾配が急なため雪が溶けにくいと思う。その対策を十分に実施してもらいたい。

- 市も新規路線でもあるため、重点的にパトロールを行います。  
また、12月に一部供用開始を予定している箇所は、5カ所に砂箱の看板を設置し、凍結防止剤を設置し、安全対策を行ってまいります。  
なにぶん、新しい路線であります。冬でも安全に通行できる対策を地域の皆様方と一緒に、検討させていただきたいと思っております。

白浜栗沢線の延長に関して、現状の道路ではカルバートと舗装の管の擦り付けが最大10cmくらい段差になっている部分がある。白浜栗沢線延長の際には、新しい区間の延長だけでは無く、既存の道路の段差を解消するようお願いしたい。

- 改良時で大丈夫なのか、現在の通行に不具合があり、応急的な措置が必要なのか、現地を確認したうえで相談させていただければと考えております。現地を確認しましたなら、町内会長にご連絡いたします。

集会所下の道路にガードレールは設置されたが、ガードレールの下にもう一本細いパイプを通すとい

う話であり、それが設置されていない。応急措置として赤いネットを取り付けたままになっている。パイプの設置を早く検討してほしい。

→ まちづくり協議会の後、現場を確認いたしまして、検討いたします。

漁港に出入りする乗越道路付近に、街灯が1つも無い。市から県の方への要望として上げ、早急に街灯を設置するよう対策をとってほしい。

→ まちづくり協議会において、そのような意見があったことを岩手県に伝えさせていただきます。

(野田市長) 今の質問を含めまして、本日は貴重なご意見をいただき有り難うございました。冒頭にやっと形が見えてきたというお話をさせていただきましたけれども、今日のお話をふまえますと、まだまだ沢山やらなければならない課題があることを痛感いたしました。漁港に行く道路については、県が担当となりますので、早急に伝えまして皆様の仕事の支障にならないよう調整したいと思います。県がやること、市がやることそれぞれありますから、どこまで県が実施し、どこまで市が実施するのかきちんと決めたいと、次回説明出来るようにしたいと考えております。まだ防潮堤工事が終わっておりませんし、乗越道路もまだまだこれからだと思われませんが、いずれにしても、工事が早く進められるよう尽力したいと思います。

色々な課題がありましたけれども、ほとんどが小原さんとの約束事でしたので、今日皆様と確認出来れば良かったのですが、担当が変わりましたので、今日お話のあったことについて、引継ぎを行いながら精査したいと考えております。町内会長さんを含めて現場を確認しながら、きちんと整備させていただきたいと思っております。今日のお話は議事録にとり、1つ1つ精査いたします。実施可能なものは確実に実施いたします。

先程お話がありましたこの道路については、当初の予定ではここからここまで繋ぐという話をしておりましたが、今日説明させていただきましたとおり、被災していない地域の道路整備は困難との理由から、復興庁からも承諾をなかなか得られず、申し訳ありませんが、ほぼ不可能に近い状態でございます。もし、市に財源があれば整備可能ですが、今のところは御了承いただきたいと思います。今日お話のあった案件については、ほとんど実施可能な事業だと感じますので、市が責任を持って実施させていただきます。

今日いただいたご意見は、持ち帰り整理させていただき、ニュースレターに記載して皆さんに情報提供させていただきたいと思っております。

後程、現場までご一緒させていただければ有り難いと思っております。町内会の会長さんはじめ役員の方々にも大変お世話いただいておりますが、引続き跡地活用の案件も含めまして、ご意見いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして本日のまちづくり協議会・地権者連絡会を終了させていただきます。本日は誠に有り難うございました。

(閉会 15:10)